

令和7年度 江戸川区立平井西小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> やさしい心 じょうぶな体 かんがえる力 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○子供一人一人が輝き、生涯教育の基礎づくりが発揮される学校 ○自己肯定感、自己有用感をもち、夢と希望をもつ児童 ○時代の変化やキャリアステージに応じて自らの資質能力を高めることのできる教師
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> 朝学習や授業改善を全校で行い、基礎学力の向上に努めることができた。 外遊びや体育の授業で運動量を確保し、体力を向上させた。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上に向け、主体的・対話的な深い学びを目指した授業改善と学習規律や学習習慣を確立し、個に応じたわかる授業を創造していく。 いじめ・不登校・問題行動において、アンケートやLーGateを実施し、日々の児童の変化に素早く対応する予防体制を確立していく。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	○授業改善の推進と知識・理解の定着を目指した基礎・基本の確かな習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による学力定着への取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> 「Study Every Day!（江戸川っ子study week!）」朝学習と家庭学習で東京ベシックドリル国語・算数の実施。 授業後に板書をTeamsに投稿し、学習の振り返りができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力を高めようとしているとアンケートの回答をする児童が80%以上。課題提出率85%以上。 Teamsへ1日1回の投稿と必要に応じたオンライン授業の配信。 	78%	85%	B	○東京ベシックドリルを学期の初めと終わりに行い、課題提出率100%を目指すことで、学習意欲向上に取り組んでいる。	B	○基礎的な学習を確実に身につけて、全問正解を目指してください。	A	○東京ベシックドリル診断シートの学期の終わりでは、ほとんどの児童が学期始めより正答が多くなった。	B	○基礎基本の定着を引き続きしてください。	○東京ベシックドリル診断シートの結果分析から課題となっている問題に取り組められるようにする。
	○読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通しての本に親しむための取組の実施（リーディングパティ、読書郵便、読書ピンコ） 	<ul style="list-style-type: none"> 年間読書冊数目標 低学年60冊 中学年40冊 高学年30冊 	80%	98%	A	○1学期はあじさい読書月間を2学期はもみじ月間を実施した。3学期は読書郵便を実施する。○月1日、読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施している。	B	○読書が好きになるように読み聞かせもたくさんしてください。	B	○年間で計画していた読書月間の取組を全て実施できた。○読み聞かせボランティアの活動により、たくさんの本を読むことができた。	B	○図書ボランティアや団体図書への取組で読書環境を整えられてよかった。	○たくさん読書することで読解への理解を深め、国語科の学習に繋げる。
	○基礎体力の向上と健康で丈夫な体作りの推進	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間の外遊び、持久走、なわとび月間、長縄集会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 児童へのアンケート結果で、90%以上が運動に親しもうとしていると回答 	83%	90%	B	○1学期に長縄集会を実施した。学校で一致団結して取り組めた。外で遊ぶ児童が増えた。	B	○大勢で体を動かすと楽しいので、引き続き取り組んでください。	A	○体力調査の結果が江戸川区と東京都の平均値を上回り、体力向上が見られた。	A	○体力向上が見られ、引き続き、なわとび等の学校の取組や外遊びの励行を続けてください。	○体力調査の結果を分析し、課題となっている体力を高められるように手立てを考えていく。
体力向上	○健康的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> うがい、手洗い、給食食後の歯みがき、フッ化物先口の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断後の治療率90%以上 	63%	85%	B	○治療率は、内科100%、眼科58%、耳鼻科75%、歯科22%となっている。全て90%を目指す。	B	○タブレットの使い過ぎで視力が低くならないか心配です。	A	○フッ化物洗口や歯磨きの取組が児童に定着した。	A	○フッ化物洗口や毎日の歯磨き指導、年2回の校医による歯の検診と様々な取組が成果となってくとよいです。	○継続して、健康な歯の取組を行っていき、歯磨きの習慣が根付くようにしていく。
	○給食指導と関連した食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 体験を通じた食に関する活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年、年1回実施 	70%	100%	A	○年間計画通りに食育活動を実施している。児童の食育教育への関心が高まっている。未実施の学年も準備を進めている。	A	○低学年のソラマメやグリーンピースの鞆むきは、楽しく学習できてよいです。	A	○年間に計画していた食に関する授業を全て実施することができた。	A	○給食試食会を通して、給食のことや学校の食育に関する授業についてよく分かりました。	○学校での取り組みが、保護者や地域の方に広く伝わるように給食試食会を継続する。
	○相手の立場や気持ちを理解する心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材や施設等を生かした学習や体験交流学習、特別活動の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童による学校評価アンケートの「みんなと仲良くする、進んで挨拶をする」の問いに肯定的回答が80%以上。 	70%	90%	B	○今年度も引き続き、5年生が墨田区社会福祉会館を訪れ、皮なめし工業についてSDGsと関連付けて学習した。	B	○地域や外部の人材をもっと活用して楽しく学んでほしいものです。	A	○地域人材や施設を生かした授業を開発したり、継続して実施したりすることができた。	A	○地域で生活児童にとって地域のことを知るよい機会となり、うれしく思う。	○開発した教材について引き続き、授業で実施できるように年間計画に記し、引継ぎをしていく。
実現に向けた教育の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> 常時、特別支援教室専門員との連絡・相談体制の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間10回以上の特別支援に関する校内委員会の実施。 	70%	95%	A	○計画通りに実施している。特別支援委員会で情報共有し、学校体制や外部機関との連携等の方策を決め、組織的な取り組みができるようにしている。	B	○外部機関や地域と協力して、みんなで教育していきましょう。	A	○校内委員会を計画通りに実施し、校内体制や外部機関と連携体制を築くことができた。	A	○児童一人一人に合った支援ができるように進めていることが分かりました。	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導がさらに充実するようにしていく。
	○エンカレッジルームの活用促進	<ul style="list-style-type: none"> 教室に戻るまでの時間、児童が気持ちを落ち着ける場としての使用。 	<ul style="list-style-type: none"> 常時、教員を配置。 	70%	95%	B	○週1日の校内別室指導支援員を配置し、エンカレッジルームが気持ちを落ち着かせる場として使用している。	B	○様々な特性をもった子供達のためにいろいろな部屋があるのでいいですね。	A	○校内別室指導支援員を3名配置することができ、不登校児童への対応を充実できた。	A	○全ての児童が学校へ楽しく登校できるように工夫していることが分かりました。	○エンカレッジルームの使用ルールを明確にし、気持ちよく過ごせるようにする。
	○あいさつと正しい言葉遣いの推奨	<ul style="list-style-type: none"> 朝会にて学級輪番制で行うあいさつ当番の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校共有アンケートの「児童は、だれに対してでも、元氣よく気持ちのよいあいさつができる。」の問いに肯定的回答が95%以上。 	70%	95%	B	○学級輪番制で行う玄関でのあいさつを実施している。校舎内ではあいさつする児童が増えている。	A	○子供達にあいさつされると、こちらも元氣になってきます。	B	○学級輪番制で行うあいさつを計画通りに実施できた。大人へのあいさつも元氣よくできるようになっていきたい。	B	○旗振りで横断歩道に立っているときにあいさつをしてくれる子が少なかった。	○見守りの大人へのあいさつをできるようにしていく。
不登校・いじめ対応の充実	○教育相談の強化	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートや学校に関するアンケートを学期ごとに実施。「LーGate」にて毎日、1日の振り返りを実施し、児童の実態を知ると共に一人一人に応じた支援を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校共有アンケートの「教員は、日頃から個々の児童に寄り添い、認め、励ます姿勢で取り組んでいる。」の問いに肯定的回答が90%以上。 	90%	95%	B	○ふれあい月間としてアンケートを実施し、聞き取りをして早期解決に努めている。○「LーGate」で毎日振り返り、児童の実態を把握・支援している。	B	○新しくタブレットも活用して、子供の気持ちに寄り添っているのですね。	A	○年3回のふれあい月間を実施し、児童からの聞き取りをすることができた。	A	○いじめがあったときの対応について学校が組織として対応していることが分かりました。	○未然防止の視点に立ち、子供たちが安心して過ごせるようにしていく。
	○規則正しい生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 西っ子家庭ルール週間を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎学期の実施。 	70%	85%	A	○長期休み後に計画通りに2学期まで実施できた。	B	○夏休み後に生活リズムを戻す取り組みは、たいへんよいですね。	A	○年3回、計画通りに実施することができた。	A	○規則正しい生活ができるように、引き続き、家庭と学校が協力して取り組んでください。	○早寝、早起き、朝ごはんを徹底し、正しい生活を身に付けられるようにしていく
	○学校ホームページ・学校公開の充実	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやTeamsを通して教育活動の周知。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日更新。 	70%	80%	B	○ホームページやTeamsを毎日、更新できるように努めている。	B	○ホームページで学校の様子が変わります。もっとたくさんの記事を載せてください。	B	○児童の学習活動の様子をホームページへ投稿することが少なかった。	B	○ホームページでは、給食の献立は毎日上がっているの、子供たちの様子も毎日載せてほしい。	○ホームページにも学習活動の様子が投稿できるようにする。
学校（園）開かれた地域社会の実現	○教育活動の改善・向上に向けた学校関係者評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域、学校評議員への教育アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動の改善に向けた中間評価と年度末における評価の実施。 	80%	85%	A	○運動会や学校公開後に教育アンケートを取り、保護者や地域の声を聞き、教育課程の改善を図っている。	A	○アンケートをしっかりと取って、もっとよい学校にしてください。	A	○教育アンケートを受け、改善できるように取り組むことができた。	A	○保護者や地域の意見を聞き、改善してくれてよかった。	○引き続き、保護者や地域の方の意見に耳を傾け、環境を整えられるようにしていく。
	○特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 集会等の時間を活用したたて割り班活動の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で構成されるたて割り班での活動を月1回実施。 	60%	95%	B	○集会等で、たて割り班活動を実施し、充実を図っている。	B	○昔と違って、兄弟が少ないから違う学年で遊ぶ機会が必要ですね。	A	○たて割り班活動を充実させることができ、異学年との交流が深められた。	A	○たて割り班活動により、他学年と仲良く遊べてよかった。	○活動内容を振り返り、異学年交流を深まるようにしていく。
	○授業力向上に向けた教員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修における組織的、相互的な育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 常時、行う授業参観と年間20回の校内研修の実施。 	65%	90%	B	○全教員が、1学期に1回目の授業公開を実施した。教員同士で授業を観察し、助言し合っている。	A	○お互いに授業を見合いながら、よいところをたくさん吸収して子供に還元してください。	B	○全教員が学び合いに関する授業公開をし、授業力向上に努めた。	B	○授業力向上に向けて、教員一人丸となって取り組んでいることが分かった。	○引き続き、指導力向上に向けてチーム平井西で取り組んでいく。